

## 平成28年度 Summer English Camp 報告

平成28年度の Summer English Camp を、7月27日（水）～29日（金）2泊3日の日程で実施しました。場所は例年通り、福島県の British Hills で、今回は1年生22名、2年生4名、合計26名の生徒が参加しました。ふだんの授業で学習した英語表現を基に、更に高度な会話能力を身につけるべく、様々な活動に積極的に参加しました。短い期間ではありましたが、生徒たちは、授業だけでなく生活すべてに英語を必要とする同施設において、「実践的な英語」を学習することができました。



“Can I check in, please?” 到着後、さっそく英語でひとりずつチェックイン。オリエンテーションとマナーハウスツアーの担当はLuke先生とAndy先生。分かりやすい英語で施設内を丁寧にガイドしてくれました。



最初の授業は“Survival English”。工夫を凝らしたゲームや様々な教材を使って、楽しみながらいろいろな英語表現を覚えました。最初は緊張していた生徒たちも、次第にリラックスして自然に英語を発話できるようになりました。



Dining Hallでの初めての食事。スタッフの英語の指示に従い、ボリューム満点の美味しい料理の数々をみなで取り分けて舌鼓。窓の外には、霧の都ロンドンを想わせる深い霧が立ち籠めていました。



フリータイムには、パブでスタッフとおしゃべりしたり、ダーツを教えてもらったりなど、異国文化を体験しながら楽しく英会話を学ぶことができました。スタッフと会話してサインをもらうスタンプシートにも取り組みました。



宿泊したNewton棟の前でJames先生と。



“Culture & Manners”の授業風景。世界各国の文化や風習の違いを、ゲームを交えながら楽しく学びました。左はNovia先生。



“British Wedding”の授業の様子。施設内のチャペルで英語による模擬結婚式を体験しました。



“Refectory”での食事の様子。



“Travel in the UK”の授業では、イギリスの観光名所や食べ物などを学んだ後、グループごとに旅程を作ったり、ビンゴゲームを使って聞き取った英語に即答する練習をしました。Bretta先生と。



“Discussion Skills”の授業。「事実」と「意見」の違い、異論の述べ方、和解の仕方などを学び、グループごとに話し合い、発表もしました。



Tuck-shopでは円は使えないので、British Hills poundに両替して買い物を楽しみました。



最後の授業はお楽しみの“Cooking Scones”。Mark先生(写真左)、James先生の指導のもと、全員、無事美味しいスコーンが焼けました。



最後の食事はパブの2階で“Fish & Chips”。



充実した2泊3日の研修を終え、マナーハウスを背景に最後の記念撮影。参加した生徒たちはそれぞれに多くのことを学んだようです。